

## 11 期同期会の活動の概要

11 期幹事 あんどう いさお  
安東 功雄

### 1 同期会の結成

11 期生は 1952 年 3 月の卒業ですから、今から 62 年前のことになります。第二次世界大戦が終わったのが 1945 年 8 月ですから、私が定時制に在学していた時は、まだ戦争の余波が残っている時代ということになります。同期生の中には、シベリア抑留から帰還した者、幹部候補生として戦闘機の単に搭乗していた者、諜報機関兵の養成機関である陸軍中野学校に在籍していた者等がいるというように経歴も様々で、徴兵の経験のない私とは、年齢差が 10 才近くありました。

その 11 期生の同期会を作ったのは、卒業後 35 年ばかり後に母校創立 50 周年記念式典が母校で開催された際に、卒業後初めて河端清五郎君と会ったのがきっかけとなりました。

久しぶりに母校を訪れて、同期生の卒業者の名簿を見せてもらい、これを基に作った 90 数名の名簿の中から 50 名以上の者が集まり、同期会がスタートしました。

### 2 同期会の活動

#### (1) 毎年の開催と村川先生の出席

11 期の同期会は結成以降毎年 11 月に、十三及び近郊で開催してきました。そこには、村川行弘先生が同期会の結成以降お亡くなりになるまで必ず出席して下さい、先生から話を聞くことができました。その口調は卒業後 60 年近く経っても変わらず、北野定時制の授業を彷彿とさせるものでした。

#### (2) 「北辰Ⅱ」の編集

同期会で同期生と語り合いを持つうちに、貴重な体験を記録として留めておきたいとの思いから「困難を乗り越えて 学び・歩んだ軌跡」と題して、11 期生の文集（1994 年発行）を作りました。そこには、卒業後 40 年ばかりの年月が経過した今だから明かせるとして、私が想像もしていなかった体験が綴られていました。

その当時「北辰」という校史がありました。それは、学校に保存されている資料を整理して作られたものですが、それに加えて、定時制の生徒の体験を記載した文集を作れば、校史を補完することになるという思いから、役員会の承認の下に、1 期から 15 期までの卒業生の文集を作ることとなりました。11 期生を中心に編集されました。当時、戦後 50 年に達していたところから、その足跡をたどるという意味を込めて、「北辰会会員戦後五十年の軌跡」という題号を提案し、その題号の下で多くの方々のご協力で文集ができました。それが「北辰Ⅱ」（1995 年発行）です。

この文集の一部が「北野定時制 72 年史」（2009 年発行）に引用されていますし、また、「北辰会Ⅲ」「北辰会Ⅳ」と文集が発展してきているのは、喜ばしいことです。

#### (3) 同期生の便りの配布

11 期の同期会は、当初 50 名以上の者が集まって盛大に行っていましたが、次第に身近上の都合等やむを得ない事情で参加できないものが増えてきました。そこで、毎年開催する同期会の案内に、「1 年に 1 度の同期生への便り」という気持ちで、近況にとどまらず、時局評論、趣味、旅行記等なんでも記載して欲しい旨依頼し、そこまで集まった便りをワープロで打って、12・3 頁のものを欠席者に郵送することとしました。これによりよって、同期会出席者と出席できない者との繋がりが保てたものと思っています。

### 3 結び

#### (1) 同期会、北辰会の存在意義

北野高校定時制課程に在籍していた期間は、私はこれまでの生涯に占める割合としては、3.2%程度に過ぎませんが、年を経ても、同期会を機に当時のことを思い出すことが出来ます。その時、それは思い出としての懐かしさというよりも、生活の様々の場面において、忍耐と活力が与えられる源泉となってきたと言えます。定時制課程が閉課程となっても、その存在価値が薄れるものではありません。

この卒業生が繋がりを保つ同期会とのその広がり期待できる北辰会が存在することは非常に有意義なことです。

#### (2) 同期会の継続による繋がりの深まり

11期生の同期会も卒業後61年目を経過し、参加人数も次第に減少してきて、これまでのように、名簿に記載されている者にあまねく案内状を送付するという方法で開催するのはすぐわなくなってきました。そこで11期生の修学旅行先が南紀の温泉であったところから、昨2013年11月に、温泉のある宝塚で同期会を開催し、これまでのような方法での開催する同期会は、終えることとなりました。

同期会は、年と共に参加者が減少してくることは、やむを得ないことです。そこには同期会結成当初の賑やかさ、晴れやかさというものは少なくなりますが、それとは逆に、参加者の間の繋がりが次第に深まってくるものです。それ故、北辰会皆様は、参加人数が少なくなっても、できるだけ長く同期会を継続して頂きたいと思えます。

最後になりましたが、これまでご支援下さいました北辰会の皆様方、先生方に、厚く御礼申し上げます。

\*事務局 この原稿は2014年北辰会総会において11期会の活動報告をお願いした時の原稿です。同期会の老舗であり、その活動は同期会開催、便りの配布、文集の作成と同期会が閉じられるまで継続されました。まさに北辰会の鏡でした。これらは北辰会指導部、後輩期の模範となり立派に引き継がれています。そして、11期生の活動はまさに北辰会に血液、エネルギー、絆を与え指導部が常に言っている「北辰会は私たちのオアシスである」その礎と成って頂きました。11期生皆様の活動を引き継ぎ、11期生諸氏先輩のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。